

—平成16年度 決算の概要—

※ 下水道事業会計は、下水道使用料などを財源とした**独立採算**の会計であり、一般の会社の会計方式に似た方式を取っています。

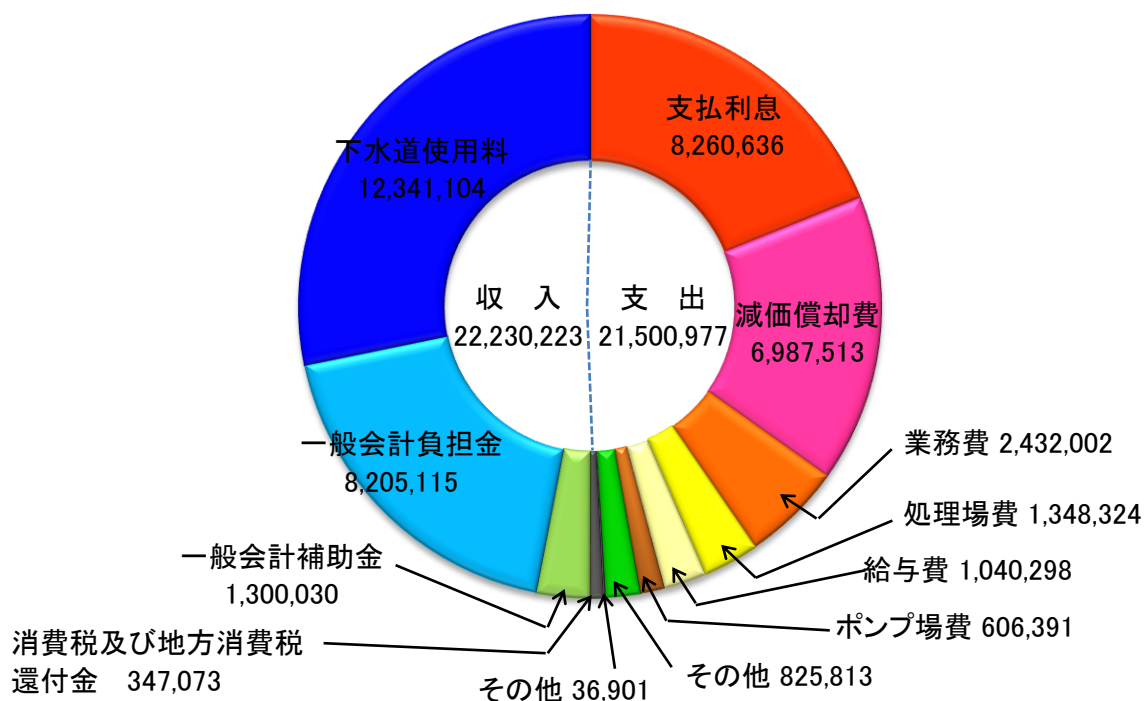
そして内訳は、**収益的収支**と**資本的収支**に分けられます。

1. 収益的収支

※ 収益的収支とは、**下水道関係施設の維持管理などの経営**に関するお金のことです。

<収益的収支 決算>

平成16年度決算 収益的収支 (単位 千円)



<収入>

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減
	千円	千円	千円
第1款 下水道事業収益	22,886,698	22,230,223	△ 656,475
第1項 営業収益	20,905,880	20,554,942	△ 350,938
第2項 営業外収益 他	1,980,818	1,675,281	△ 305,537

※ 営業収益とは、使用者の皆様からの**下水道使用料**や一般会計からの**負担金**などのことです。

※ 営業外収益とは、市の一般会計や国、県からの**補助金**などのことです。

<支出>

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額
	千円	千円	千円
第1款 下水道事業費用	22,076,220	21,500,977	575,243
第1項 営業費用	13,680,785	13,061,789	618,996
第2項 営業外費用 他	8,395,435	8,439,188	△ 43,753

※ 営業費用とは、下水道関係施設の**維持管理費**と**減価償却費**(下水道管やポンプ場・処理場の設備などを取得したときの金額を、一時に全額計上するのではなく、その使用に耐える年数で割り、その額を毎年計上していく費用)などのことです。

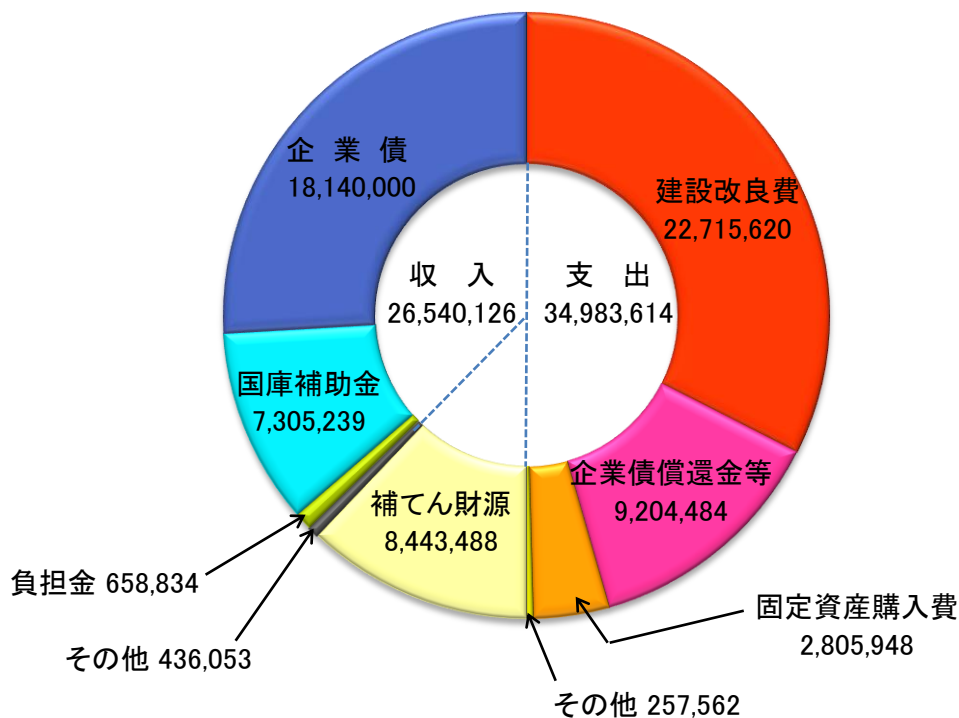
※ 営業外費用とは、建設するときに借りたお金の**支払い利息**などのことです。

2. 資本的収支

※ 資本的収支とは、**施設の建設**に関するお金のことです。その内訳は、①建設財源である**企業債**、**国庫補助金**、②施設の**建設費**や**改良費**、③建設時に借り入れた**企業債の償還金**などです。

<資本的収支 決算>

平成16年度決算 資本的収支 (単位 千円)



<収入>

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減
	千円	千円	千円
第1款 資本的収入	35,322,241	26,540,126	△ 8,782,115
第1項 企業債	25,394,000	18,140,000	△ 7,254,000
第2項 補助金	8,941,277	7,305,239	△ 1,636,038
第3項 負担金 他	986,964	1,094,887	107,923

- ※ 企業債とは、施設の建設・改良等のために借りたお金のことです。
 ※ 補助金とは、国から交付されるお金のことです。

<支出>

区 分	予 算 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額
	千円	千円	千円	千円
第1款 資本的支出	44,025,620	34,983,615	5,571,018	3,470,987
第1項 建設改良費	31,388,203	22,715,620	5,560,348	3,112,235
第2項 固定資産購入費	2,864,349	2,805,948	10,670	47,731
第3項 償還金 他	9,773,068	9,462,047	0	311,021

- ※ 建設改良費とは、下水道施設(下水道管、ポンプ場施設、処理場施設)の建設や改良・更新にかかる費用のことです。
 ※ 固定資産購入費とは、事業上必要な固定資産(土地や自動車、器具、電話加入権や施設の利用権など)の購入費用のことです。
 ※ 償還金とは、企業債の返済金のことです。

—平成16年度の主な事業—

下水道は、快適で衛生的な生活環境への改善、雨水排除による浸水の防除及び公共用水域の水質の保全のため、欠かせない都市の重要な基盤施設であることから、下水道整備を「最重要施策」の一つとして位置づけ、新5か年計画に沿って整備を推進してまいりました。

この結果、平成16年度末の人口普及率は94.1パーセントとなり、前年度に比べますと、2.0ポイントの上昇となりました。

事業実績としましては、平成16年度末の事業認可面積13,067ヘクタールのうち、11,805ヘクタールが整備済となり、行政区域内人口917,521人に対し、整備区域内人口862,962人で、このうち下水道接続人口は828,815人となりましたので、接続率は96.0パーセントとなりました。

<主要な建設改良事業>

▼下水道管工事費 154億1,080万円

- 川崎汚水2号幹線の幹線整備
- 中央雨水1号貯留幹線1工区の工事
- 宮崎雨水貯留幹線の工事など

(※ その他、各地区の面的整備を推進し、合計360ヘクタールを整備しました。)

▼ポンプ場工事費 10億6,314万円

- 中央雨水ポンプ場の用地取得・設計など

▼処理場工事費 51 億 3,111 万円

- 南部浄化センター高度処理施設の建設
- 南部浄化センター汚泥焼却炉3号炉の建設
- 中央及び南部浄化センター等の施設の更新工事など

今後とも、普及率の向上や雨水対策など下水道の整備を積極的に推進するとともに、施設の適切な維持管理を図り、事業経営の効率化に努めてまいります。

※ なお、さらに詳しい情報をご覧になりたい方は、中央コミュニティセンター2階、市政情報室で資料の閲覧が可能ですのでご利用ください。